

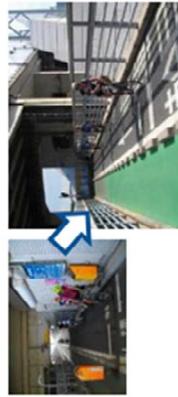
# モデルルートについて①(瀬戸内しまなみ海道)

○瀬戸内海の島々が織りなす絶景を望む、日本初の海峡を横断する自転車道として、官民一体となり、サイクリングの利用環境向上の取り組みを継続的に推進し、更なるブランド力の向上を図る

## 快適な自転車走行環境の構築

○自転車走行環境整備(ルートの明示・案内表示)

- ・ 車道の路側に推奨ルートを明示する  
フルラインと距離標の路面標示を整備
- ・ 平成29年7月19日より自転車通行料金の無料化を実現
- ・ 料金所で一日(停止する必要がなく)、利用環境が大幅に向上



## 受け入れ環境向上のための取り組み

- 地元との協働による休憩スポット・修理ポイントの整備
- 自転車を直接持ち込めるサイクルトレイン、サイクルショップの運行
- 全国初のサイクルリスト専用ホテルがオープン(H26.3)
- 民間企業の協賛によるセーフティーマット・広告看板の設置
- 国際サイクリング大会の開催(2014・2016・2018・2022)
- 米国CNN「世界7大サイクリングルート」に選定(H26.5)

サイクルオアシス

しまなみ  
レンタトレイン

ONOMICHI U2  
(サイクルリスト専用ホテル)

企業協賛によるセーフティーマット設置等

＜サイクリングしまなみ＞  
令和4年参加者：6,371人  
(うち海外：33の国と地域から180人)

CNN「世界7大サイクリングルート」

レンタサイクル貸出台数(台)  
R8 約7.1万台  
R2 約7.5万台  
R1 約15.0万台  
H80 約13.2万台

新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の減少



# モデルルートについて②(四国一周1,000kmルート)

○豊かな自然や食に恵まれ、遍路文化が根付く四国の新たな魅力として、「サイクリングアイランド四国」を実現するため、官民一体となり、サイクリングの利用環境向上の取組みを継続的に推進し、ブランド力の向上を図る

## 快適な自転車走行環境の構築

○自転車走行環境整備(路面案内ピクト) (H30.12)



路面案内ピクト

ピクト整備セミナー H30.12

- ・ 車道の路側に、5km間隔で四国一周1,000kmルートと目的地までの距離を明示する路面案内ピクトを整備
- ・ 四国第1号として、道後温泉前から国道196号線まで各道路管理者が連携してピクトを整備

## 受け入れ環境向上やプロモーション活動等

○四国知事会における緊急アピール (H29.6)

- ・ 4県知事が連名で「サイクリングアイランド四国の実現」に向けて一体となって取り組むことを決意

○4県が連携した台湾訪問団の受け入れ (H29.7)

○サイクリングアイランド四国推進協議会の設置 (H29.10)

- ・ 四国4県、四国ツーリズム創造機構、四国地方整備局、四国運輸局、JR四国で構成

○ポータルサイト・SNSによる情報発信 (H29.10～)



- ・ サイクリストのニーズに応じたオールインワンのポータルサイト
- ・ 海外サイクリストへの情報発信強化のため、多言語化(英・中・韓)
- ・ Instagram, Twitter, Facebookの3つのSNSを活用して、情報を拡散

○チャレンジ1,000kmプロジェクトを開始 (H29.11～)

- ・ 登録制(公式デジタルジャーマン)により四国一周サイクリストを可視化し、実証証や記念メダルの交付によりサイクリストの達成感を高め、認知度を向上

エントリー数: 4,172名  
(うち完走者1,719名)  
[RS.1月末時点]



【四国一周1,000kmルート】

- ・ 専門家監修のもと、実証調査等の検証を踏まえ、安全性やサイクリスト目線に配慮したルート
- ・ ホテルや立ち寄りスポット等も調査して設定

○若者応援プロジェクトの実施 (H30.3～)

- ・ 大人になる第一歩として、四国一周サイクリングを定着化(大学生等による一周チャレンジ)及び若者目線によるSNSを活用した情報発信

○四国一周1,000kmルートマップの制作 (H30.3)

○おもてなしサポーター制度の開始 (H30.10～)

・ 四国一周サイクリストが「おもてなしサポーター」として認定飲食店、宿泊施設等を「おもてなしサポーター」として認定

○四国4県での自転車展示会共同出展 (H30.11～)

○JR四国主要駅へのサイクルピット設置 (R3.3)

○四国一周サイクリストのサポートが可能な自転車店の登録による受入環境の向上 (R4.1～)

○デジタルマーケティングの手法を活用した全国の関心層向けの広告配信による情報発信 (R4.6～12)

○サイクリスト向け専門メディアによる四国一周サイクリング特集記事の掲載 (R4.9～10)



四国一周1,000kmルートマップ

## モデルルートについて③(愛媛マルゴト自転車道 28コース)

- 瀬戸内しまなみ海道を中心に全県域を誰もが自転車で親しみ、誰もが自転車を楽しめる「愛媛マルゴト自転車道」を展開し、愛媛県がサイクリングパラダイスになることを目指す。
- 愛媛県下20市町で、中・上級者向けに11コース、ファミリー向けに17コースのサイクリングコースを設定するほか、次の環境整備を実施。

### 快適な自転車走行環境の構築

- 案内標識等(距離標・案内サイン)を整備
- 勾配標識・注意喚起標識を整備
- ブルーラインを整備
  - 『中・上級者向けコース』(11コース)には、全線(連続)設置
  - 『ファミリー向けコース』(17コース)には、主要な交差点及び9km<sup>2</sup>間隔に設置
- 駐輪施設を設置
- トンネル坑口にドライバーへの注意喚起看板等を設置
- トンネル内の走行の安全性を高めるため、内装版や高輝度区画線を設置
- 幅員を再配分し、路肩を1.0m以上に拡幅
- 新規整備箇所で、1.0m以上の広幅路肩を設置



自転車に注意

※28コースのルートは、  
次ページ以降に掲載

トンネル坑口のドライバーへの注意喚起看板例

### 受入環境向上のための取組み

- 愛媛マルゴト自転車道サービスサイト・アプリを開発
- 全県版サイクリングマップを作成
- 自転車を直接持ち込めるサイクルバス、サイクルレインの運行
- 重点的・広域的に整備を行う重点戦略エリアを設定



疾走マップ  
全県版サイクリングマップ

愛媛マルゴト自転車道サービスサイト・アプリ  
疾走マップ  
(全県版サイクリングマップ)

# 愛媛マルゴト自転車道 28コースのルート

## 「愛媛マルゴト自転車道」サイクリング28コース

全20市町で設定

● 中・上級者向けサイクリングコース(11コース) ● ファミリー向けサイクリングコース(17コース)



サイパンが(9)イェス(10)に  
よっこそ!!



コース名	コース距離(km)	コース難易度
1 伊予・大洲	146.6	中級
2 伊予・大洲	67.8	初級
3 伊予・大洲	52.1	初級
4 伊予・大洲	81.8	初級
5 伊予・大洲	82.6	初級
6 伊予・大洲	62.3	初級
7 伊予・大洲	81.4	初級
8 伊予・大洲	108.7	中級
9 伊予・大洲	111.3	中級
10 伊予・大洲	69.9	初級
11 伊予・大洲	952.2	中級

コース名	コース距離(km)	コース難易度
12 伊予・大洲	12.3	初級
13 伊予・大洲	0.6	初級
14 伊予・大洲	9.0	初級
15 伊予・大洲	14.6	初級
16 伊予・大洲	9.6	初級
17 伊予・大洲	63.1	初級
18 伊予・大洲	18.6	初級
19 伊予・大洲	21.8	初級
20 伊予・大洲	24.2	初級
21 伊予・大洲	6.7	初級
22 伊予・大洲	4.7	初級
23 伊予・大洲	10.2	初級
24 伊予・大洲	8.0	初級
25 伊予・大洲	5.9	初級
26 伊予・大洲	3.9	初級
27 伊予・大洲	21.6	初級
28 伊予・大洲	22.5	初級
29 伊予・大洲	16.8	初級
30 伊予・大洲	274.1	初級



イベント  
愛媛自転車道  
ポータルサイト

「アツク」イェス  
愛媛自転車道  
ポータルサイト



# IBUKIYAMA SANGOKUJINGU 石鏡山岳輪道

石鏡山岳輪道 ルート地図

**サイクリングに必要な持ち物**

- 自転車 (自転車)
- 自転車修理具
- 携帯トイレ
- 携帯食料
- 携帯トイレ
- 携帯食料
- 携帯トイレ
- 携帯食料

**サイクリングの安全対策**

- ヘルメットを必ず着用
- ヘルメットを必ず着用
- ヘルメットを必ず着用
- ヘルメットを必ず着用

**サイクリングのマナー**

- 自転車の左側を走るが原則
- 歩道歩行者優先、自転車は歩行者優先
- 歩道歩行者優先、自転車は歩行者優先
- 歩道歩行者優先、自転車は歩行者優先
- ヘルメットを必ず着用
- ヘルメットを必ず着用

**サイクリングの楽しみ**

- ヘルメットを必ず着用
- ヘルメットを必ず着用
- ヘルメットを必ず着用
- ヘルメットを必ず着用

**石鏡山岳輪道 ルート地図**

**石鏡山岳輪道 ルート地図**

**石鏡山岳輪道 ルート地図**

**石鏡山岳輪道 ルート地図**